

ご存じですか？



車で避難の注意点

※災害時は、徒歩で避難が原則です。



自動車を使用した避難は、車ごと災害に巻き込まれたり、健康被害に遭ったり、様々なリスクを伴います。

災害時は、徒歩で避難が原則です。

高齢者や乳幼児、障がい者などの避難に配慮を要する方と同行して避難するため、やむを得ず自動車で避難する場合は、以下の点に注意しましょう。

◎危険箇所を事前確認



災害時、自動車での移動中に、洪水や土砂災害に巻き込まれる事例が全国的に発生しています。

あらかじめ、ハザードマップなどで避難する場所までの経路上の危険箇所(浸水想定区域や土砂災害警戒区域、地下道やアンダーパス)を確認しましょう。

◎時間に余裕をもつ



洪水や土砂災害の可能性が高くなってからの移動は、自動車ごと災害に巻き込まれてしまうことがあります。

また、交通渋滞により身動きが取れなくなり、逃げ遅れに繋がることもあります。

時間に余裕をもって、早めの避難を心がけましょう。

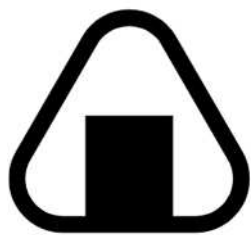
◎学校等の避難場所（避難所）以外の行き先を検討



平塚市が指定している学校等の避難場所(避難所)は、原則として避難者用の駐車場がありません。

洪水や土砂災害の恐れのない安全な高台や民間の駐車場、親戚や知人宅を行き先として、あらかじめ検討しましょう。

◎水や食べ物、携帯トイレを用意



長時間、車内で過ごすことを考慮し、あらかじめ水や食べ物を用意しましょう。

また、ホームセンターなどで販売している、携帯トイレもあると便利です。

その他、必要なものをご家族と相談しておきましょう。

◎健康被害に注意



長時間、自動車内で過ごすことにより、エコノミークラス症候群などの健康被害に遭う方が多くいます。

車内では長時間同じ姿勢でいることを避け、ストレッチやマッサージを行い、水分をこまめにとるなどしましょう。

一酸化炭素中毒や、熱中症にも注意しましょう。

◎地震や津波も徒歩で避難



地震や津波の際は、建物の倒壊などによる道路の閉塞や、大渋滞の発生により、火災や津波から逃げ遅れる可能性があるため、徒歩で避難が原則です。

自動車の運転中に大きな地震があった場合は、安全な方法で道路の左側に寄せて停車し、カーラジオなどで情報収集を行いましょう。自動車から離れて避難する際は、カギは自動車に付けたまま避難しましょう。

さらに詳しく知りたいときは…

詳しくは、下記の二次元コードからウェブサイトをご覧ください、平塚市災害対策課までお問い合わせください。

車中避難の注意点
(平塚市HP)



ハザードマップ
(ひらつかわくわくマップ)



エコノミークラス症候群
の予防のために
(厚生労働省)



●お問合せ 平塚市災害対策課

☎:0463-21-9734 (直通)

✉:saigai@city.hiratsuka.kanagawa.jp